

日本鑄造工学会東海支部 若手鑄造エンジニア懇話会 2022年度 子供いもの教室 終了報告

東海支部YFEの活動の一つである子供いもの教室はコロナ渦の影響で2年間中止となっていたが、本年度は鑄造工学会第179回全国公演大会に合わせて講演会会場の大同大学で3年ぶりに5月21日(土)22日(日)の2日間開催することができた。開催するにあたり場所と集客人数について非常に悩んだが、屋外で開催し、集客についてはWEBのみで募集した。事前予約数は非常に少なく不安もあったが鑄造工学会全国大会に参加している方も募集した結果、子供7名、大人21名に参加いただき無事に終えることができた。

今回もホワイトメタルのペーパーウェイトを製作する過程において、ものづくりの楽しさや鑄物づくりを知っていただいた。3Dプリンターで製作した10種類(車や動物などのモデル)の中から好きなモデルを選んでもらい、砂型を造型する作業を体験していただいた。小学校低学年で造型が難しそうなお子様は親御さんにもサポートいただき、造型後の砂型への注湯、砂落としといった高温で危険が伴う作業はスタッフが実施する様子を間近で見ていただいた。できた鑄物は持ち帰っていただくと同時にお子様だけでなく親御さんにも鑄造工学会およびYFEのPR活動を行った。

造型する際、自分で作ったものが形になるので失敗しないように丁寧に砂を詰めている子供が多い中、鑄造関係者の大人のほうに鑄型不良が発生していたことが驚きであった。いつも生産している生型や自硬性とは要領が異なり上手く砂詰めができていなかったことが原因と思われる、鑄物づくりの難しさを再認識されていた。

鑄物づくりの楽しさを体験してもらうことで、身近な鑄物製品にも興味を持ってもらうことができたと感じた。今後も子供いもの教室を通し、皆様に鑄造に関心をもっていただけるよう活動していく。

最後になりましたが、今回の子供いもの教室にご参加いただいた皆様、運営にあたり多大なご協力をいただきました鑄造工学会関係者の皆様、岐阜大学、三重大学の学生の皆様に厚くお礼申し上げます。
(新東工業株式会社 阿部和也)

